

**令和6年（2024年）8月15日から17日にかけて  
関東甲信地方及び東北地方に対して  
線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを行った事例**

---

令和6年8月 気象庁大気海洋部

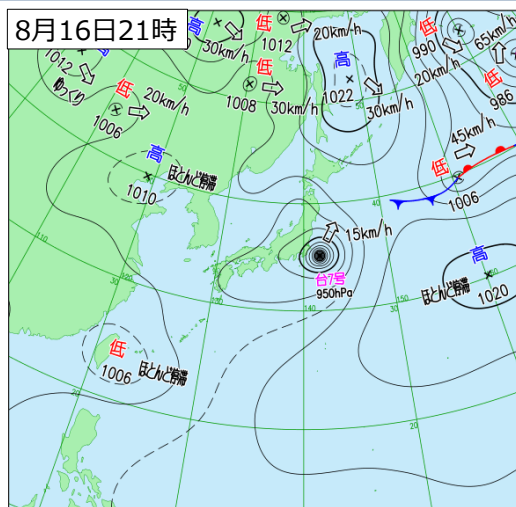
# 気象の概況、線状降水帯に関する情報の発表状況

## 【気象の概況】

・台風第7号は、8月13日に日本の南で発生して発達しながら北上し、15日夜には伊豆諸島に、16日から17日にかけては関東地方の沿岸部に、非常に強い勢力で接近した。台風周辺の暖かく湿った空気や台風本体の雨雲の影響で、関東甲信地方を中心に東日本から東北地方では、台風の接近前から局地的に非常に激しい雨が降り15日から17日にかけて大雨となった所があった。

## 【線状降水帯に関する情報の発表状況】

・伊豆諸島、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京地方、神奈川県、山梨県では8月15日の気象情報にて、宮城県、福島県では16日の気象情報にて、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施した。



- ※1 鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表する。
- ※2 一連の現象で複数回呼びかけた場合は、最初の呼びかけ日時のみ掲載。
- ※3 全般気象情報、地方気象情報、府県気象情報のうち、一番早く発表された情報の時刻を掲載。
- ※4 線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表する※6。

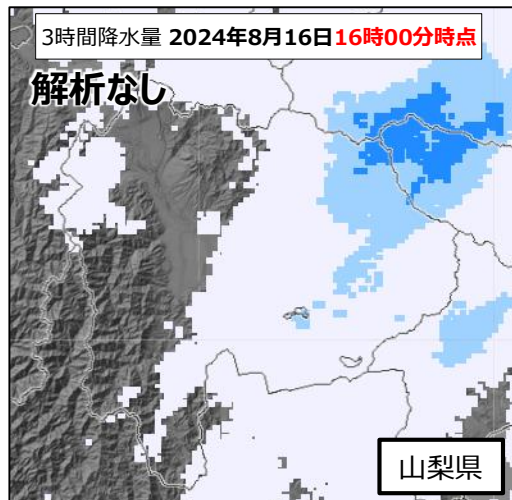
## ○ 線状降水帯に関する情報の発表状況

地方予報区	府県予報区 ※1	半日程度前からの呼びかけ※2、※3	顕著な大雨に関する気象情報※4	3時間降水量の最大値※5
関東甲信地方	伊豆諸島	8月15日11時30分	なし	約70ミリ
	茨城県	8月15日16時36分	なし	約70ミリ
	栃木県	8月15日16時36分	なし	約25ミリ
	群馬県	8月15日16時36分	なし	約35ミリ
	埼玉県	8月15日16時24分	なし	約60ミリ
	千葉県	8月15日16時36分	なし	約70ミリ
	東京地方	8月15日16時36分	なし	約60ミリ
	神奈川県	8月15日16時36分	なし	約50ミリ
東北地方	山梨県	8月15日16時30分	なし	約60ミリ
	宮城県	8月16日11時07分	なし	約60ミリ
	福島県	8月16日11時07分	なし	約100ミリ

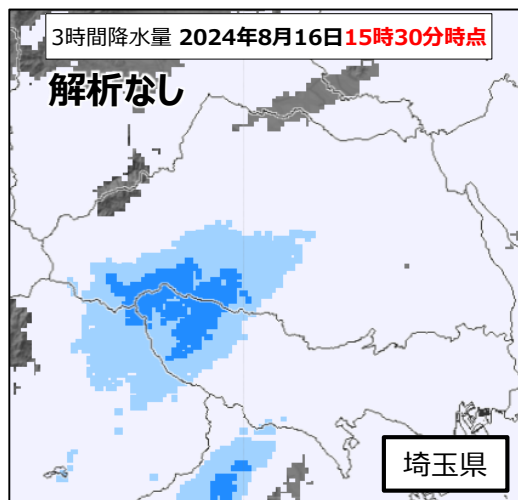
- ※5 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、顕著な大雨に関する気象情報を発表しなかった府県予報区については、期間中雨量が多かった時間帯における3時間降水量の最大値を示している。
- ※6 情報を発表してから3時間以上経過後に発表基準を満たしている場合は再発表するほか、3時間未満であっても対象区域に変化があった場合は再発表する。

- ① 前3時間積算降水量(5kmメッシュ)が100mm以上の分布域の面積が500km<sup>2</sup>以上 形状の基準
- ② ①の形状が線状(長軸・短軸比2.5以上)
- ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上 雨量の基準
- ④ ①の領域内の土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)において土砂災害警戒情報の基準を超過(かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上)又は洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)において警報基準を大きく超過した基準を超過 危険度の基準

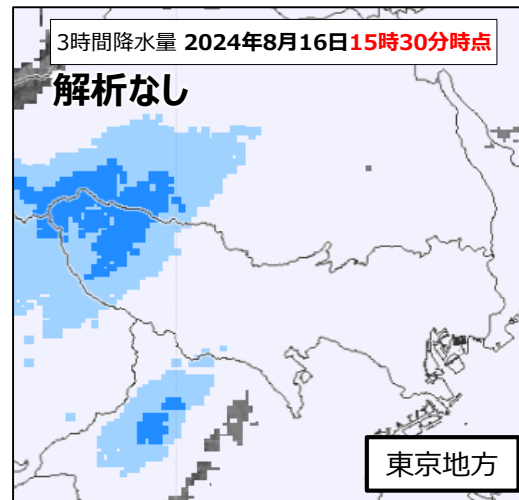
# 線状降水帯の解析状況



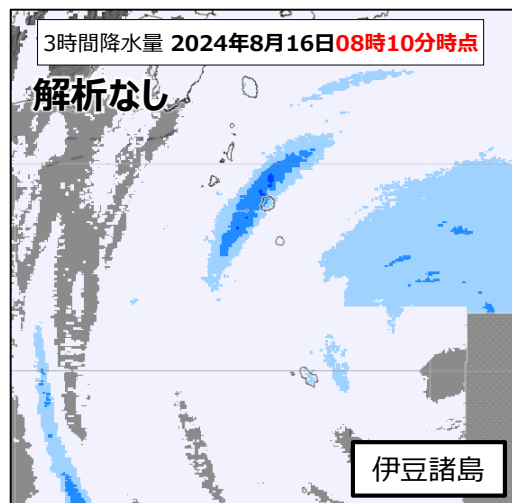
山梨県における3時間降水量の最大値は  
約60ミリ



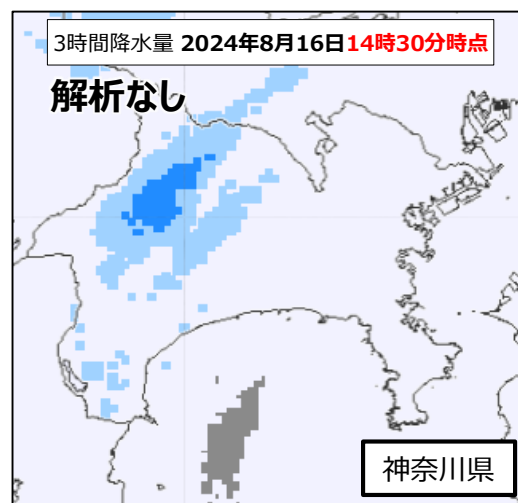
埼玉県における3時間降水量の最大値は  
約60ミリ



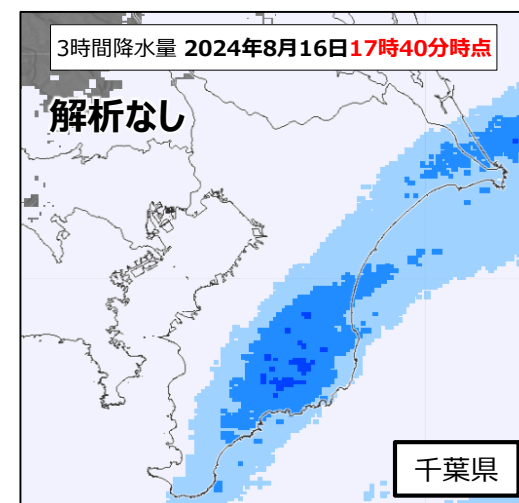
東京地方における3時間降水量の最大値は  
約60ミリ



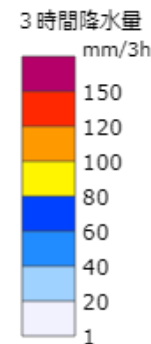
伊豆諸島における3時間降水量の最大値は  
約70ミリ



神奈川県における3時間降水量の最大値は  
約50ミリ



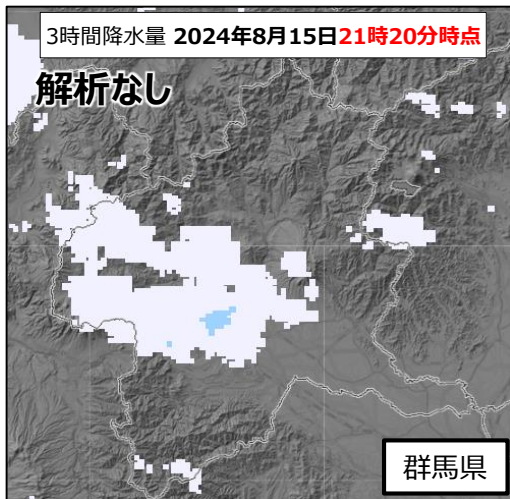
千葉県における3時間降水量の最大値は  
約70ミリ



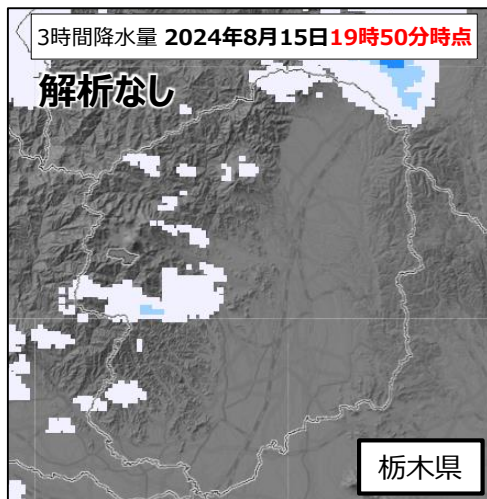
・線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、顕著な大雨に関する気象情報を発表しなかった府県予報区については「解析なし」とし、期間中雨量が多かった時間帯の雨量の状況を表示している。

・各府県予報区の3時間降水量の最大値は5kmメッシュに平滑化した値を記述しており、1kmメッシュの3時間降水量分布図の最大値と一致しない場合がある。

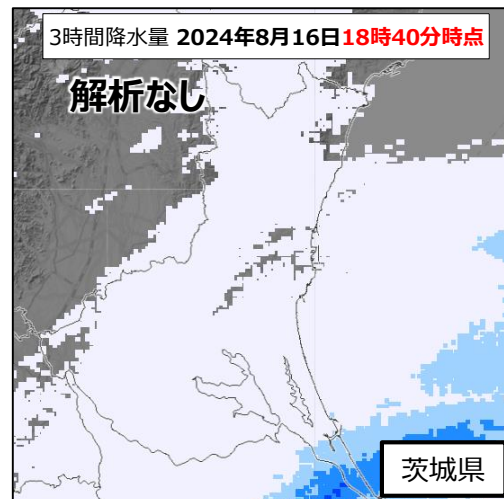
# 線状降水帯の解析状況



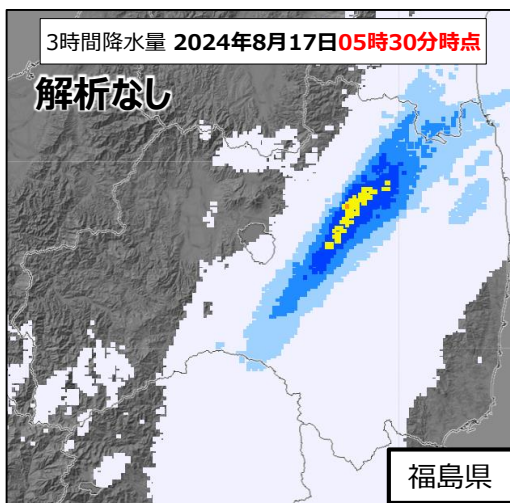
群馬県における3時間降水量の最大値は  
約35ミリ



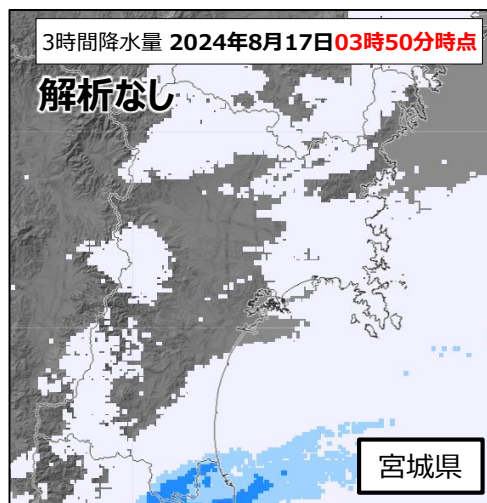
栃木県における3時間降水量の最大値は  
約25ミリ



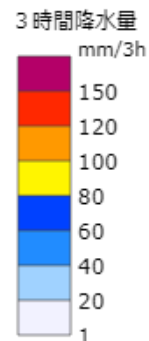
茨城県における3時間降水量の最大値は  
約70ミリ



福島県における3時間降水量の最大値は  
約100ミリ



宮城県における3時間降水量の最大値は  
約60ミリ



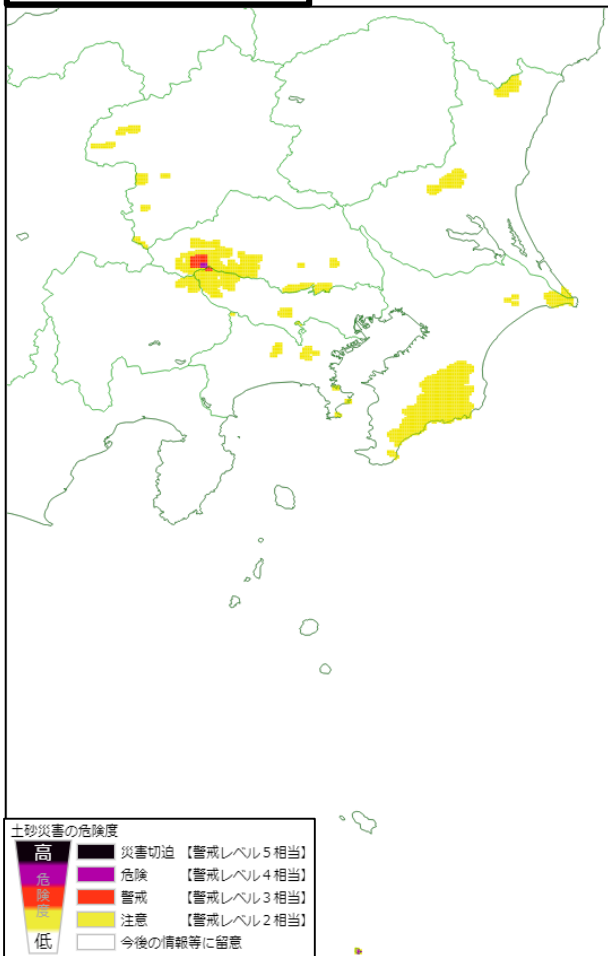
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、顕著な大雨に関する気象情報を発表しなかった府県予報区については「解析なし」とし、期間中雨量が多かった時間帯の雨量の状況を表示している。
- 各府県予報区の3時間降水量の最大値は5kmメッシュに平滑化した値を記述しており、1kmメッシュの3時間降水量分布図の最大値と一致しない場合がある。



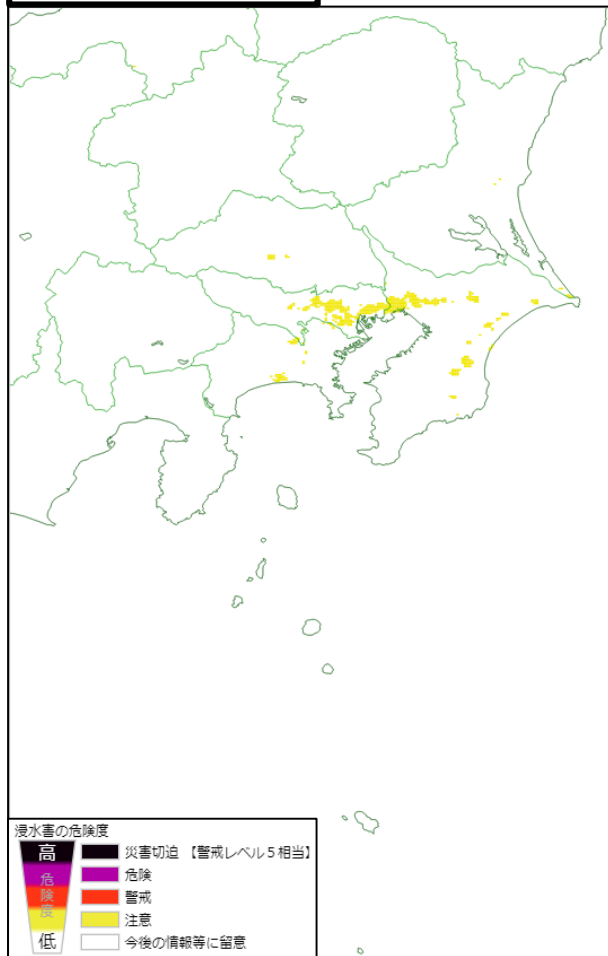
# (参考) キキクル (危険度分布) の状況

8月16日：埼玉県では、土砂キキクルで危険（紫）や警戒（赤）が、東京都では警戒（赤）が出現した。また、埼玉県・千葉県・東京都では洪水キキクルで警戒（赤）が出現した。

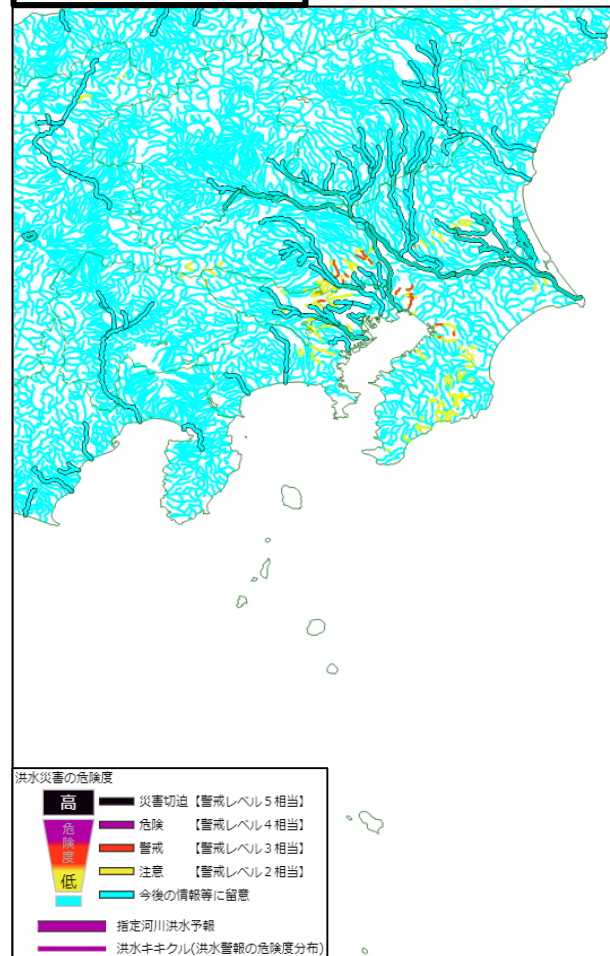
## 土砂キキクル



## 浸水キキクル



## 洪水キキクル

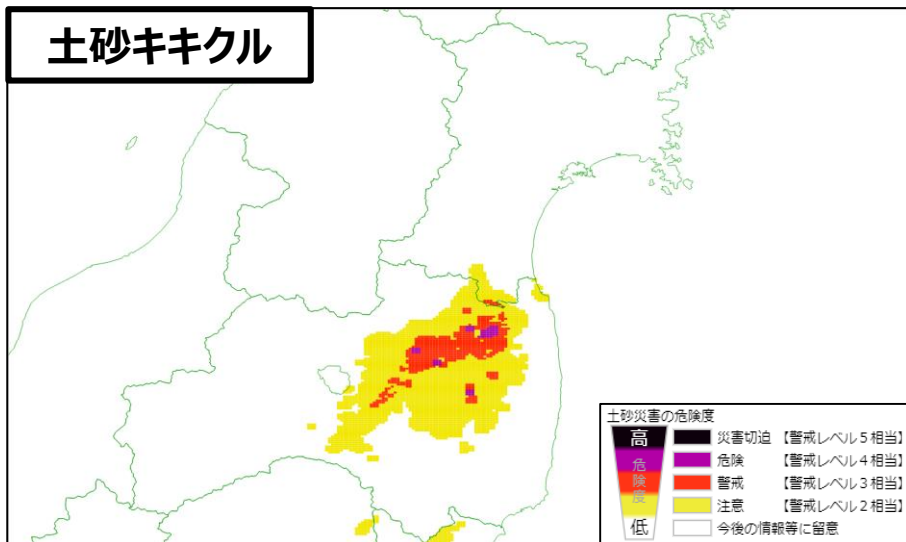


8月16日0時から17日0時にかけて出現した最大の危険度

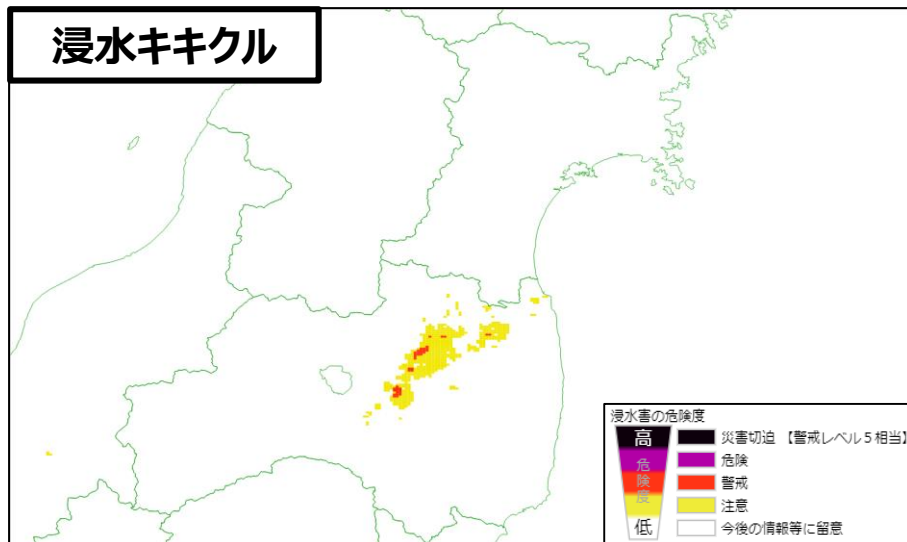
# (参考) キキクル (危険度分布) の状況

8月16～17日：福島県及び宮城県では土砂キキクルにおいて警戒（赤）が出現した。また、福島県では土砂キキクルで危険（紫）も出現し、洪水・浸水キキクルにおいて警戒（赤）が出現した。

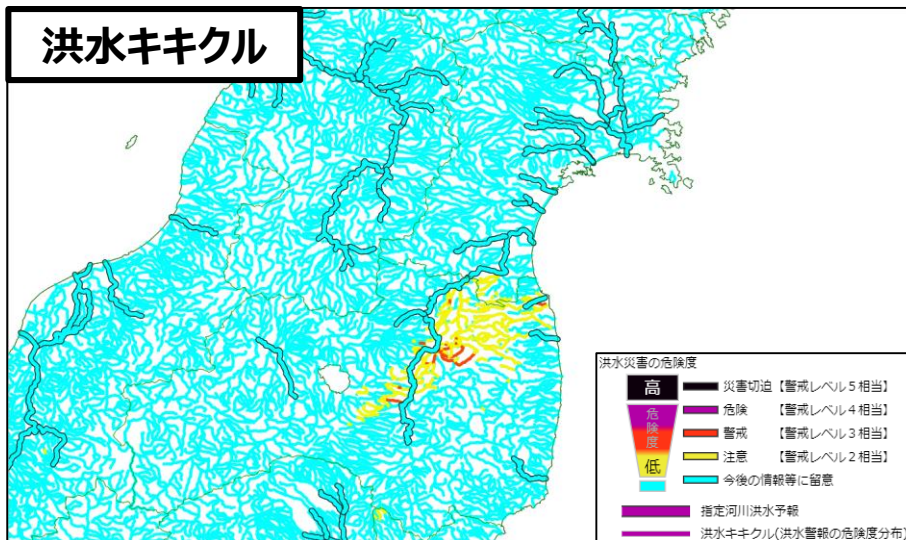
## 土砂キキクル



## 浸水キキクル



## 洪水キキクル



8月16日12時から17日12時にかけて出現した最大の危険度

# 本資料について

- 本資料は、線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施した事例、又は線状降水帯が発生した事例※<sup>1</sup>について速報的にまとめた資料です。

※1 「線状降水帯が発生した事例」とは、前出の「顕著な大雨に関する気象情報の発表基準」を満たした場合をいいます。

- 本検証資料は「大雨事例等における防災気象情報の精度検証と発表基準の改善」のページからアクセスできます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jirei/index.html>

- 関連する情報は、「線状降水帯に関する各種情報」のページをご覧ください。

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/kishojoho\\_senjokousuitai.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/kishojoho_senjokousuitai.html)

- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを、府県予報区単位※<sup>2</sup>で実施していることから、検証も府県予報区単位で実施しています。

※2 鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表します。

現在の技術では、線状降水帯による大雨の正確な予測は難しく、呼びかけを実施しても必ずしも線状降水帯が発生するわけではありませんが、線状降水帯が発生しなくても大雨となる可能性は高いため、この情報が発表されたときには心構えを一段高めてください。

また、線状降水帯による大雨の呼びかけがなくても、線状降水帯が発生したり、災害をもたらすような大雨となったりすることがあるため、自治体が発令する避難情報や、大雨警報やキキクル等の段階的に発表される防災気象情報とあわせてご活用ください。